

YMCA NEWS 金沢青年

No.23(2020 年7月号)

発行所:金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201

TEL/FAX(076)255-7782

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

笑いのボランティア

金沢 YMCA 理事 田口 昭典

金沢 YMCA 機関誌の巻頭言にふさわしいかどうかはわからないが、今年度金沢 YMCA は「笑いのボランティア」の養成を目指して腹話術講習会を行う。わたしはほぼ 40 年間、ロゴス腹話術研修会の会員であり、1980 年代はロゴス腹話術研修会北九州支部の創立に携わり、支部長の責任を担った。会員は 20 名を越え、技術発表を兼ねた有料の「人形祭り」を開催したこともある。毎月例会を持ち、練習と親睦、ボランティア活動の報告やスケジュール調整を行っていた。

北九州で 12 年間牧師をし、その間、ロゴス北九州支部でボランティア活動に勤しんだ。初めて特別養護老人ホームに人形ケンちゃんとお訪ねした時のことを忘れない。おばあちゃんは紙粘土で出来た人形の手を撫でて、まるでお孫さんを迎えるようにケンちゃんの訪問を喜んでくださった。「おばあちゃん、お元気で！」とお別れを告げて次の居室に移動しようとした時、「待って、いいものあげる」と言って衣装ケースの中からお菓子を出してケンちゃんにくださった。「おばあちゃんのお菓子だからいいのよ」と固辞すると、「あんたにやるんじゃない！ケンちゃんにやるの！」とお叱りを受けた。

誰も訪ねてこないという寂しさの中にあっただのかもしれない。ケンちゃんの手を撫でて「硬くて冷たい手だね」と優しく語りかけるおばあちゃんに、私は心から感謝したのだった。その後、日本バプテスト連盟宣教部の主事を経て、25 年前に金沢に赴任した。教会の復興と幼稚園の健全経営が私の責任であった。地域に教会と幼稚園を紹介し、良いイメージをもっていただくことを考え、様々な出会いのプログラムを繰り返し実施した。その中の一つが「腹話術初心者講習会」であった。私は早速、私の師匠を迎えて講習会を行う準備をスタートさせた。



私の師匠は「春風イチロー」といい、寄席芸人であり、日本キリスト教団川崎新丸子教会の牧師であった。古い話だが、NHK の TV 番組「ある人生」でも紹介された情熱と人情溢れる素晴らしい牧師である。私の願いにイチロー師匠は二つ返事でお引き受けくださり、一度ならず、何度もわたしの願いに応じて金沢に足を運び、初心者研修会をご指導くださった。福井や新潟からも参加してくださった方がいた。

それ以前にもイチロー師匠は金沢の教会の求めに応じて金沢で初心者講習会をなさっていたようである。しかし、継続できず、断念したという経緯があった。しかし、良い地に落ちた種は豊かに実を結ぶ、とキリストは祝福の言葉を残している。この地、金沢は豊かな良い地である。金沢に移り住んで 25 年。住みやすさ、人情、山、川、海の自然等々金沢はわたしにとって最良の地である。今、豊かな実りを期待している。

腹話術というと、多くの人は面白い大道芸の一つくらいに考えている。しかし、ロゴスの腹話術は見てくださる方、聞いてくださる方に慰め、喜び、希望をお分ちし、やる気を起こさせるものである。健全な笑いを通して。

金沢 YMCA 農園体験のオーナー制に参加して

エバーウッドホーム株式会社代表取締役・元泉丘高校ハイスクール YMCA 会員 室山 正英

金沢 YMCA 農園体験のオーナー制に参加することになったのは、私が 2007 年から毎朝の日課にしている早朝の犀川沿いのウォーキングの際に北肇夫さんと何度もお会いするうちに、ご挨拶だけでなく立ち止まってのちょっとした雑談を交わすようになったことがきっかけでした。お話しするうちに北さんが金沢 YMCA の活動に参加されていること、いろいろなボランティア活動をなさっていることなど伺い、そうした話の中に三小牛町の北陸学院の敷地内で「わいわい農園」という活動について、また、そこでオーナー制という形で一畝を自由に使って農業体験をできることなど熱心にお誘いいただきました。

早朝に車で出向いて農園活動を行うほどの熱心さは持ち合わせてはいなかったのですが、私自身、自宅の裏庭で一畝だけの家庭菜園を、健康管理を目的としてウォーキングを始めたのと同じ時期に始めており、金沢 YMCA の活動の一環として何人かの方々と一緒に農園活動を行うことで野菜の育て方など新たな知識を得られるかもしれないとの思いもあって、何度かの熱心なお誘いを受けた際に思い切って参加させていただくことにしました。2018 年の春のことでした。

早朝の 6 時半に三小牛町の北陸学院小学校脇の駐車場に長靴と長袖の綿シャツにジーパンといういで立ちで出向くと、北さんににこやかにお出迎えいただき、小学校の建物の奥にある農園へご案内いただきました。小規模な菜園をなんとなくイメージしていたのですが、想像よりはるかに広く畝数も多いうえに周囲をフェンスで囲い野生の動物の侵入を防ぐための電気柵まで完備されているのには驚いてしまいました。また、農園に向かう途中にはペンキ塗りの木造の農機具倉庫があり、中には農業体験に必要なと思われるさまざまな道具や器具が蔵置されており、これにもびっくりでした。聞けば、北陸学院の小学校や大学の教育の一環として使われている農園の一部と農機具置き場を金沢 YMCA の活動のために利用させていただいているとのことでした。

案内されたフェンスで囲われた農園の一部が「わいわい農園」ということで、立派な手作りの看板も掲げられていました。すでにいくつかの畝には種まきがなされており、私もオーナー制の対象としてご提供いただいた畝を、農機具小屋でお借りしたクワを使って耕した上で事前に用意したダイコンやエダマメなどの種を撒いて、わいわい農園参加の初日の作業は完了しました。

ゼロから畝を作る必要もなく、よく整備された農園でしたので、利用を許可いただいた畝の作業はすぐに終了し、かなりの時間を「わいわい農園」のメインの作業のお手伝いにも振り向けることができました。

最初の年でもっとも感慨深かったのは、やはり秋の収穫の時だったでしょうか。メインのプロジェクトで植えられて夏の間は雑草取りなどいろいろお手伝いさ

せていただいた里芋の収穫は、私にとっては初めての体験で大変興味深かったことでした。芋を掘り起したり、水で洗ったり仕訳をしたり、大量の葉や茎を破棄処分したり、こればかりは通常の朝の 1 時間ではとても収まり切れず、最初から日中の時間を設定して行いました。

農園の土地はとても肥沃で保水性もよく、菜園につきものの水やりの苦労はあまりなくて済みました。また、早朝の三小牛町は空気も澄んでいて医王山の方向からの朝日も美しく素晴らしい環境でした。残念ながら農業体験に参加される方の数は多くはなく、ぜひもっと多くの方が参加されたとの思いを強く持った次第です。

ことして「わいわい農園」のオーナー制参加は 3 年目になります。2 月ごろから、コロナ禍という今まで誰も経験したことのないような状況となり、すべてが自粛ムードという環境で農園活動自体行えるのかなという不安もありましたが、自然の中で十分な距離をおいての作業であれば「三密」にはならないだろうと思い参加しました。

ことは一畝だけをお借りして、いままで試したことのない大玉トマトにチャレンジしています。なんとかこの楽しみを分かち合える方をもっと見つけてお誘いしたいと思って、毎週三小牛町へ通っております。



2018 年 8 月 14 日(火)
作業中の朝倉さん(右)と北さん(左)



2018 年 11 月 13 日(火)の里芋収穫作業、北さん(右)と

金沢 YMCA のクリーンキャンペーンと地域奉仕活動

金沢 YMCA 評議員/青团連 理事 北 肇夫

金沢 YMCA では、毎年 2 回、恒例行事としてクリーンキャンペーンに参加している。春 5 月の清掃活動は、金沢市青少年団体連絡協議会(以下、青团連と略称)が主唱し、金沢百万石まつり開催に向けて参加者数 6,000 名規模(2019 年度実績)で市内の道路・公園・バス停・河川敷などに散らばって活動。金沢 YMCA では、金沢 YMCA 事務所を起終点に堅町商店街・柿木畠商店街・柿木畠ポケットパークなどの金沢の繁華街で行われ、大半のゴミは飲み物の空き缶・タバコの吸い殻などで、収集後、金沢市中央公民館 長町館までゴミを持ち寄り、報告集会に参加。

秋 10 月の青团連の清掃活動は、金沢市町会連合会主催事業に協力参加しており、各団体のそれぞれの町会の計画に合わせて実施している。

この春・秋のクリーンキャンペーンに連動した奉仕活動として金沢犀川クラブでは、新桜坂緑地を活動拠点に地域社会への奉仕活動を長年続けてきた。2019 年 6 月 30 日をもって解散した同クラブから、金沢 YMCA がこの緑地の美化活動を引き継いでいる。

活動の引継ぎにあたり、金沢市と金沢 YMCA が「公園等里親事業(アドプト事業)」として合意書を交わし、園地内の清掃、除草や施設の点検、不法投棄などの情報提供により市のサポートを行なっている。その活動の情報は、金沢市のホームページ「いいね金沢」上で紹介され、YMCA やワイズの活動の一端が伺われ、知名度の向上に寄与している。

新桜坂緑地は、清流・犀川と寺町台地を緩やかな階段で結ばれ、上段園地と下段園地で構成され、市民からは「W 坂」と愛称されている。園地内には、日展作家・得能節朗氏制作の塑像(水辺の詩)、井上靖氏の文学碑(北の海)や「ふるさとの坂三十選」の石碑(手づくり郷土賞/建設大臣表彰)が設置され、通勤・通学者や内外の観光客に利用されている。また、上段園地からの眺望は素晴らしく 眼下に犀川の清流と金沢城下町の町並み、金沢城・兼六園の森、遠くに日本海や医王山の山並みなどが眺められる。

今後、YMCA の知名度向上や YMCA の活動の理解を図るとともに、会員・市民・学生・学童たちの地域奉仕活動への積極的な参加を得て、マスコミ等へのアピールを図りたい。



2016 年 10 月 16 日(日)秋の一斉美化キャンペーン



2018 年 5 月 27 日(日)春のクリーンキャンペーン
(金沢 YMCA 事務所のある 里見町タウンハイツ前で)



2018 年 10 月 21 日(日)秋の一斉美化キャンペーン



W 坂 2016 年 10 月 16 日(日)秋の一斉美化キャンペーン



2019 年 5 月 26 日(日)春の一斉美化キャンペーン



【金沢 YMCA 理事会・評議員会】

◇2019年度金沢 YMCA 理事会(第7回)・評議員会(第4回) 2020年3月27日(金)17:30～19:30、金沢市長土堀青少年交流センター。評議員会:2020～2021年度理事・評議員・監事が選任された。理事:朝倉秀之、幸正一誠、田口昭典、平口哲夫、山内ミハル。全理事が再任(任期2020～2021年度)。評議員:朝倉みゆき、井川英二、伊藤仁信、数澤輝夫、北 肇夫、西 信之、八反順一郎、藤井辰男、三谷信三、宮本和幸(2019年5月18日選任、2019年度末辞任、後任決定まで職務担当)。朝倉評議員は新任(田口昭典・宮本和幸評議員辞任に伴う、任期2020～2021年度)、井川・伊藤・数澤・北・西・八反・藤井・三谷評議員は任期(2018～2021年度)途中。監事:竹中丈晴、山野晋夫(任期2020～2021年度、再任)

◇2020年度第1回金沢 YMCA 理事会 4月11日(土)18:00～19:30 に長土堀青少年交流センターで開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、Eメールまたはメーリングリストによって実施。2019年度第4回評議員会選任の2020～2021年度理事5名はすべて再任なので、2019年度をもって任期切れの代表理事2名(理事長・常務理事)を改めて選任、朝倉理事が理事長に、山内理事が常務理事に再任。また、平口理事が書記に、幸正理事が総務に再任。

◇2020年度金沢 YMCA 理事会(第2回)・評議員会(第1回) 2020年6月17日(水)13:30～16:30、長土堀青少年交流センター。各委員会から報告・提案があり、了承された。

① たけのこ掘り体験委員会 委員長 井川英二

今年度は、タケノコの表年にもかかわらず新型コロナウイルス感染予防のため中止。三小牛の竹林は、北陸学院が6月に業者に依頼して、竹林入口部分を広げた状態にしてあり、竹は撤去済み。法人事務局と交渉したが、今年も粉碎処理をしないで竹を積み重ねた状態なので、課題は残されたままである。来年度春に「たけのこ掘り体験」を行うのならば、下草を事前に刈り込む作業が必要、その作業を金沢 YMCA がする場合の許可は取ってある。

② わいわい農園体験委員会 委員長 北 肇夫

事業方針:本事業は、北陸学院三小牛キャンパスの一画で、有機肥料中心の少農薬栽培を基本とする。希望があれば、区画を定めたオーナー制により自主的な運用を可能とする。経費:本年度から、金沢 YMCA の会員は参加費不要とし、金沢 YMCA の事業費ならびにオーナー制の参加費をもって充てる。なお、寄付金や収穫物の販売金などは、事業費に充当する。収穫物の活用:収穫物は、地域奉仕活動および会員への販売などに充てる。*北陸学院三小牛キャンパス内の畑を借用していることに対し、参加しやすい平地の農地を借りたほうがよいとの意見がある。この点については、今後の課題とする。

③ ソトゴハン(ひとり親家庭の絆プロジェクト)委員会

委員長 山内ミハル

今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、保護者の勤務もいろいろな形をとっており、小学校も正式には6月から授業が開始されているが、夏休みがどうなるか、地域によって異なる可能性があるため、今年度は中止する。

④ 広報委員会 委員長 平口哲夫

ニューズレター(YMCA NEWS 金沢青年):季刊とし、4月・7月・10月・1月に発行。ホームページ:日本 YMCA 同盟の規格に習ったレイアウトするように島田茂氏(前日本 YMCA 同盟総主事)から助言があり、部品データの一部を提供していただき、ある程度レイアウトを更新した。今後、同盟ブランディング推進協力部の山田紀久美氏と連絡をとり、HPのレイアウトに必要な部品データを送ってもらう手筈になっている。リーフレット:適宜更新する。*ニューズレターやリーフレットの印刷方法・部数・費用については検討を要する。

⑤ 英会話レッスン委員会 委員長 朝倉秀之

新型コロナウイルス感染予防のために4月からのプログラムはできなかったが、可能ならば、10月から始める。場所は金沢市長土堀青少年交流センター3階、月4回開催、費用その他は検討中。

⑥ ユースリーダー育成委員会 委員長 山内ミハル

大学1年生を対象に、3月から募集の準備をする予定であったが、やはり新型コロナウイルス感染症拡大のため、大学によって入学式がなかったり、授業形態がまちまちであったりするので、大学への依頼が困難であることと、ユースリーダーとしての活動の事業の目安もないので、落ち着くまで様子を見たい。

⑦ 腹話術講習会委員会 委員長 田口昭典

目的:笑いのボランティア育成。腹話術の技術習得を目指す。講習を終了したのち、その技術を生かし、笑いのボランティアとして奉仕し、地域社会において健全な笑いを通して人々を励まし、勇気付ける。募集:2020年8月末までを募集期間とし、5～10人の登録を目指す。講習期間:2020年9月～2021年3月(7ヶ月間)。講習日時:原則として第一金曜日を定例とする。19:00～21:00。講習会場:長土堀青少年交流センター。補講:欠席者にはZoomにより補講を行う。会費(一般):登録費6,000円(テキスト代、通信費、教材費等)、毎月の会費2,000円。

★編集後記★なんとか7月末までに完成(H・T)

YMCA NEWS 金沢青年 No.22

編集委員:平口哲夫(編集長) sophiruka@yahoo.co.jp

朝倉秀之・北 肇夫・山内ミハル

発行者・発行日:金沢 YMCA・2020年7月30日

発行所:金沢 YMCA 事務所

〒920-0998 金沢市里見町 44-1-201

TEL/FAX 076-255-7782

理事長 朝倉 秀之

asahide0927@gmail.com

